



左から鈴木副校長、飯窪校長、荒井教頭

校長 ^いい

^くく ^みみ ^きき ^ここ
飯窪 美紀子

～地域と連携した教育活動を～

相模原支援学校2年目になりました。校長の飯窪です。
令和6年度から4年間の学校教育計画を策定し、共生社会の実現と子どもたちの自立と社会参加を目指し今年度も取り組んでまいります。課題を解決するためのポイントは、学校と地域、保護者、そして、学部、校務グループが「協働」して取り組んでいくことだと考えています。子どもたちが地域で生き生きと笑顔で生活し、活躍している将来を思い浮かべ、その姿を保護者の皆様と共有し、一緒に取り組んでいきたいと思ひます。どうぞよろしくお願いいたします。

具体的には、昨年度から「子どもたちが地域に出て学ぶ」という機会を増やすことができたので、今年度はさらに地域と連携した教育活動を進めていきたいと考えています。次はこんなことができるかな？あんなこともできるかな？と考えるとワクワクしています。これからは、地域貢献する活動だけでなく、地域の方にも学校に足を運んでいただくことも進めていきたいと考えています。様々な教育活動を通して地域と学校が顔の見える関係を築いていくことを第一歩とし、挨拶を交すことでコミュニケーションを図り、「ありがとう」と感謝されることで自己肯定感を高める等、児童・生徒が豊かに生きる力を育てていきたいと思ひます。

副校長 ^すす ^ずず ^きき ^とと ^もも ^ここ
鈴木 智子

管 理 職 の 挨 拶

～自分のペースで一歩ずつ～

この4月に鶴見支援学校から副校長として着任しました。今までに勤務したことのない地域ということもあり、そして久々の電車通勤に緊張の毎日でしたが、新しい環境にもようやく慣れ、電車の窓から見える景色を堪能しながら通っています。校内を回っていると、皆元気よく挨拶してくれます。子どもたちの声や笑顔、一生懸命に学習に取り組む姿に元気をもらい私の一日のエネルギー源となっています。早く、皆さんの顔と名前を覚えられるよう頑張ります。

相模原支援学校で過ごす12年、6年、3年間で、たくさんの先生や友だちと関わり、自分の得意なことを伸ばすとともに、新しいことにもチャレンジして、できることを1つずつ増やして行って欲しいと思ひます。時には苦手だと思ひすることもあるかもしれませんが、あきらめずにチャレンジしてみてください。みなさんの「できた！」の笑顔を見るのを楽しみにしています。

子どもたち一人ひとりの持っている力を引き出し、健やかな成長を保護者の皆様と喜び合うことができるよう、精一杯力を尽くすとともに、保護者の皆様、地域の方々と共に歩み続ける、応援していただける学校になるように努力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

教頭 ^ああ ^らら ^いい ^ゆゆ ^うう ^すす ^けけ
荒井 佑輔

～得意を伸ばそう！～

桜咲く校門を見学・生徒のみなさんが元気よく入ってきました。着任2年目も、みなさんの笑顔を見ることができてうれしく思ひます。

相模原支援学校には、「体を動かしながらいろいろな言葉を覚えることが得意な人」、「写真や絵を使って伝えあうことが得意な人」、「イメージの世界をふくらませて音楽や文章にすることが得意な人」など、さまざまな児童・生徒がいます。一人ひとりの「得意」を生かして、人や物とかかわりながら「考え」「わかり」「できる」シーンを、たくさん増やしていきたいと思ひます。

さて、新入生が「友達や先生との出会いを楽しみに入学しました」と言ってくれました。相模原支援学校は、一人ではおぼつかしいことも、仲間とかかわりながらチャレンジすることができます。また、先生方は多様な学び方を理解して、一人ひとりに応じた指導をしていきます。新入生のみなさん、安心して失敗をしながら、「得意」をどんどん伸ばして行ってください。

相模原支援学校は、来年50周年を迎えます。保護者や地域のみなさまと一緒に、ワクワクするような教育活動を考えていきたいと思ひます。よろしくお願いいたします。

小学部1年担任

～ようこそ！相模原支援学校へ～

学校の桜も満開の中、小学部に7名のニューフェイスが入学してきました。服装もバッチリ決まって、みんなの表情も誇らし気に見えました。新しい教員との挨拶もそこそこに、すぐにお母さんと手をつないで体育館に入場して入学式が始まりました。就学前の園の体育館とは比べものにならない大きな部屋に椅子がたくさん並んでいて、いきなりたくさんの人の注目を浴びて座っているのは、ちょっとドキドキでした。でも、みんな頑張って最後まで参加することができました。また今年は、4年生、5年生、6年生に1名ずつ新しい仲間が増えました。この学校に自分の楽しめることをたくさん見つけて、のびのびと大きく成長して行ってほしいと思います。



中学部1年担任

～中学生になりました！～

満開の桜の中、中学部に新入生9名が入学しました。はじめは緊張気味の様子で友だちや教員によそよそしい子どもたちでしたが、徐々に慣れ、素敵で元気な笑顔が多く見られるようになりました。学年合同の学級活動では、自己紹介カードを作成し、一人ひとりしっかりと自己紹介することができ、交流を深めることができました。これから、様々な授業が始まってきます。いろいろなことに興味を持ち、たくさんのごことにチャレンジしてほしいと思います。楽しい学校生活を一緒に送りましょう。いつでも「元気に！楽しく！笑顔で！」



高等部1年チーフ

～ようこそ相模原支援学校へ～

高等部は新入生36名が入学し、4クラスで新しい学校生活が始まりました。個々のペースは様々ですが、それぞれがすてきな大人に向けて、一步を踏み出しました。まだまだ緊張も残っていますが、少しずつ慣れていってもらえたらと思います。これから日々の学習活動や行事を通して、仲間と協力しながら、一緒にレベルアップしていきましょう！応援よろしくお祈りします！



分教室1年担任

～分教室へようこそ！～

分教室1年生14名が入学し、分教室は全員で44名になりました。入学式では緊張している様子でしたが、呼名された時には、堂々と自信をもって返事をする事ができていました。式が終わると緊張がほぐれ次第に表情が柔らかくなり、帰りのホームルームでは笑顔も見られるようになりました。これからの高校生活でやりたいことや叶えたいことがたくさんあるようです。1年生(19期生)が少しでも自分が抱えた夢や希望が実現できるように、充実した分教室での3年間を過ごして欲しいです。今後は、分教室44名で力を合わせ協力し、分教室を盛り上げていきましょう！



写真は後輩の入学を楽しみにしていた2年生が描いてくれた黒板アートです♪



保健室から ～健康診断がんばっています☆～

4月から6月にかけて、毎年学校では定期健康診断が行われます。病気の早期発見だけでなく、自分の体に興味をもつ機会にもなっています。しかし、新学期を迎え環境が変化したばかりの中、健康診断に不安や恐怖を感じている子どもたちが多いのが実際です。本校では、見通しをもって少しでも不安や恐怖を減らして当日を迎えることができるように、事前指導を行っています。

例えば、苦手な子どもたちが多い「耳鼻科検診」…耳鏡・鼻鏡・舌圧子といったたくさんの器具を使います。耳や鼻は自分からは見えないので恐怖はなおさらです。事前指導では子どもたちに器具を触ってもらい、担任がやってみせ、苦手意識の少ない子どもに見本になってもらうなどしています。繰り返し練習し、数回の健康診断を経験すると、保健室に入ること自体苦手だった子どもたちも、健康診断が上手になって成長をみる事ができます。これからも安全に、また「できた！」という体験も大切に丁寧に進めていきたいと思っています。

